



2023 高岡万葉セミナー

# 万葉に歌われた草花

令和5年 9月2日(土) 13時~16時25分

※内容など変更がある場合があります。ホームページ等でご確認ください。

●開講式 13:00 ~ 13:10

●第1講 13:10 ~ 14:40



## 万葉集の植物と植物群落

服部 保氏 (兵庫県立南但馬自然学校学長・兵庫県立大学名誉教授)

万葉集には約150種の植物が詠まれています。万葉植物については植物分類学の立場から多くの研究者が解説されています。しかし、万葉植物全体をみて万葉時代にどのような植物群落が広がっていたのかといった植物生態学の視点から万葉集を解析した例はありません。万葉時代の里に広がる「あさぢはら」(チガヤ草原)、海岸に広がる「つまま」(タブノキ)の森、里山に生育する「かたかご」(カタクリ)などについてお話しします。

●第2講 14:55 ~ 16:25



## 秋草のさびしき極み —万葉集恋歌の表現と草花—

影山 尚之氏 (武庫川女子大学教授)

「吾木香(われもこう)すすきかるかや秋くさのさびしききはみ君におくらむ」(明治43年「別離」)は牧水が恋人の園田小枝子に贈った歌といわれますが、事情はどうあれ哀感あふれる美しい歌です。万葉集にワレモコウは詠まれませんけれど、ススキとカヤは万葉植物、秋の草花はほかにもたくさんうたわれ、恋の心を象っています。

交通のご案内

◆最寄り駅JR氷見線 伏木駅から

【当館までの距離 約1.5km】タクシーで約5分、徒歩約25分

◆JR・あいの風とやま鉄道 高岡駅から

【バス】高岡駅前(北口)のりば④

加越能バス伏木方面(西回り)・伏木方面(東回り)のいずれかに乗車(約30分)して「伏木の宮バス停」で下車、徒歩約7分

【タクシー】約20分

※「北陸新幹線 新高岡駅」と「JR・あいの風とやま鉄道 高岡駅」の間は、10分間隔でバス便があります。(所要時間約10分)

◆お車で

【能越自動車道】高岡北インターから約20分、高岡インターから約25分

【北陸自動車道】小杉インターから約35分、高岡砺波スマートインターから約35分

●受講料 2000円(学生1000円)

●定員 先着120名

●申し込み方法

「高岡万葉セミナー受講希望」と書き、郵便番号・住所・氏名(ふりがな)・電話番号を記載のうえ、ハガキ・電話・FAX・E-mailなどでお申込み下さい。高岡市万葉歴史館受付でもお申込みできます。

受講料は、当日受付でお支払いください。(おつりのないようご注意ください)

※受講確認のハガキはお送りしません。



高岡市万葉歴史館

〒933-0116 富山県高岡市伏木一宮 1-11-11 TEL: 0766-44-5511 火曜日休館

○開館時間 午前9時~午後6時 ※入館は閉館の45分前まで

○観覧料 一般:300円 中学生以下:無料 65歳以上:240円 団体(20名以上):240円